

都市建設委員会 所管事務調査事項 提案一覧表

No.	テーマ	調査理由等
1	スマートシティについて	本市においてバスの運転手不足や赤字の路線が増えていることでバスの減便、路線の廃止が行われ、高齢者の交通困難が課題である。課題の解決にあたり、スマートシティで情報収集をし、効率的に自動運転バス、デマンド交通を利用する必要があると考える。このことから、スマートシティについて調査する必要がある。
2	下水汚泥等の有効利用	今、資源の再利用・再資源化の取組が求められています。下水道の普及とともに増え続ける下水汚泥ですが、従来は、埋め立てて処分していたものを、現在は、例えば、焼却の過程で発生するメタンガス、下水に含まれるリンなどを有効活用する取組が進んでいます。本市の取組を確認すると共に、他市の事例も参考にして推進の後押しをしていきたいと思っています。
3	公共交通の維持について	運転手不足や時間外労働の規制の影響を受け、バス路線の廃止や減便が市内各所で増えている。 バス事業者への支援策とともに、バス利用者を増やしてバス路線を維持していく施策を必要だと考える。 このことから、バスの利用促進について調査する必要がある。
4	空き家対策	昨年度、当委員会でまとめた市への提言書に基づき、実際の対策の検証をしたい
5	災害時のインフラ対策について	地震、豪雨による下水道整備 その他災害時における道路復旧等
6	下水道事業を取り巻く課題と今後について	下水道事業は、市民生活を支える重要なインフラであるが、ストックの増大、老朽化の進行、技術職員の減少、使用料収入の減少など、様々な課題を抱えており、下水道事業を持続させていくためには、今後も効率的な事業執行や新たな取組が求められている。「持続可能な下水道事業」を目指して、下水道事業の現状・今後について、あらためて調査・研究をすべきと考える。
7	災害時のインフラ復旧	台風等での雨水対策
8	災害時のインフラ対策について	地震、豪雨による下水道整備 その他災害時における道路復旧等

9	街路樹の管理・街路樹による賑わいの創出	木の根っこによる舗装のもりこみが目立つ 道路標識が街路樹の葉で見えにくくなっている すごしたくなる緑の水辺の拠点への取組
10	災害時のインフラ対策について	地震、豪雨による下水道整備 その他災害時における道路復旧等